

【EMD.GR.JP 掲載のニュース】 (7月1日~8月2日分)

pressplay、プレーヤーへの転送も 可能にしたサービスを発表

米 pressplay は、有料会員制サービスの新版「pressplay version 2.0」を発表した。

pressplay version 2.0 では、ストリーミング、ダウンロード共に楽曲を無制限に利用可能にしたほか、ダウンロードした楽曲を携帯型プレーヤーに転送できるサービスや、インターネットラジオ局を視聴できるサービスを追加した。

携帯型プレーヤーに転送できるサービスは、従来から提供している楽曲の CD 書き込み機能に追加する形で「portable downloads」という名称で提供される。

対応するプレーヤーは、Sony の「Net MD」のほか、Microsoft の「Windows Media」やデジタル著作権管理(DRM)機能に対応する SONICblue の「Rio」シリーズ、Creative Labs の「Nomad」シリーズ、Compaq の「iPAQ」など。

また、指定したアーティストの1カ月に CD に焼くことができる曲数の制限を廃止した。さらに「sync/restore」機能により、追加料金なしで2台の異なる PC 上に楽曲を保存できるようにした。

料金プランは以下の通り。

- ・ pressplay Unlimited : 月額 9.95 ドルで楽曲のストリーミング、ダウンロード利用が可能(無制限)。
- ・ pressplay Unlimited Plus : 月額 17.95 ドルで楽曲のストリーミング、ダウンロード利用が可能(無制限)。1カ月に10曲の「portable downloads」が可能。
- ・ pressplay Annual Plus : pressplay Unlimited Plus の年間契約で 179.40 ドル。ストリーミング、ダウンロード利用が可能(無制限)。120曲の「portable downloads」が可能。
- ・ "Portable Download" Packs : いずれの料金プランとも組み合わせることのできる

「portable downloads」の追加パック。5曲までが5.95ドル、10までが9.95ドル、20曲までが18.95ドル。

pressplay 2.0 は提携する MP3.com、MSN、Roxio、Sony Musicclub、Yahoo! を通じて既に提供開始されている。

(8/2)

総務省、6月末のインターネット 利用者数を発表

総務省は、2002年6月末の時点でのインターネット接続サービスの利用者数速報を発表した。

いわゆるブロードバンドの利用者数としては、CATV インターネットが162.6万人、DSL が3,300,926人、FTTH が68,600人となっている。

DSL の加入者が前月から30万弱増やし相変わらずブロードバンドの牽引役になっている。一方、CATV インターネットは5.9万の増加となり前月の増加数の落ち込みから復活している。また、FTTH は数字は少ないものの前月から17,000以上増え、増加率は高い。

(8/1)

松下電子部品、LCD がスピーカー になるパネルを発表

松下電子部品と松下電器産業は、携帯情報端末機器向け音響デバイスとして、サウンドウィンドウ技術を用いた「アコースティックパネル」と「アコースティックタッチパネル(A-TTP)」を製品化したと発表した。

サウンドウィンドウ技術は、パネルをスピーカー(ドライバ)の空気圧で音響的に振動させて音を放射する新方式のスピーカー技術。

従来方式のパネルスピーカのように強固な板状パネルを必要とせず、音を放射するパネルを薄いフィルムで構成することが可能となる。また、ドライバ(スピーカー)の音孔が不要になるため、セット機器の防塵対策・防水対策が不要となる。

この技術により、液晶ディスプレイなど映像画面全体から音再生ができる新方式の音響デバイスを実現した。

松下では、スイッチ機能無しの「アコースティックパネル」とスイッチ機能を持たせた「アコースティックタッチパネル(A-TTP)」を製品化。PDA、携帯電話、各種小型音響機器(ポータブルオーディオ、カーナビゲーションシステムなど)への応用を見込んでいる。

(7/31)

オリンパスと富士フイルム、超小型 フラッシュメモリーカードを発表

オリンパス光学工業と富士写真フイルムは、「スマートメディア」の後継として超小型記録メディア「xD-Picture Card」(xD ピクチャーカード)を開発、今秋より発売すると発表した。

「xD-Picture Card」は、20.0mm x 25.0mm x 1.7mm、体積 0.85cc、質量 2g と、既存のフラッシュメモリーカードよりも小型になっている。

製造は東芝に委託され、当初は16MB、32MB、64MB、128MBの4タイプで発売し、12月には256MBを、2003年に順次512MB、1~8GBを発売予定としている。

パソコンとの接続では PC カードアダプター、USB カードリーダーが同時発売、コンパクトフラッシュカードアダプターが今秋発売予定。

これらの汎用性から PDA やオーディオプレーヤーなど他の IT 家電機器にも活用できるとしている。

(7/30)

Cirrus Logic、1チップ・オーディオ 処理 LSI「CS7410」を発表

米 Cirrus Logic は、CD-DA、MP3、WMA などに対応する1チップのオーディオ処理 LSI「CS7410」を発表した。

CS7410 は、32ビット RISC 型 CPU コア、

16ビット・オーディオ用DSPコア、18ビット D-A変換器、256KバイトのROM、80KバイトのRAMを搭載する。CD-DA、MP3、Windows Media Audio (WMA)のほか、今後の圧縮規格にも対応することができる。

このCS7410を使えば、オーディオ機器に圧縮オーディオファイルの再生機能を安価に搭載できる。主に携帯型CDプレーヤー、CDラジカセなど、CDベースのオーディオ機器に向けられ、小売価格50米ドル以下のMP3/WMA対応携帯型CDプレーヤーを実現できる。

CS7410は、すでに量産出荷中。価格は、8.62米ドル(10,000個出荷時)で、MQFPパッケージ及びLQFPパッケージでの提供が可能となっている。

(7/30)

NTTドコモ、モバイルマルチメディアのサービスを統合

NTTドコモは、同社のモバイルマルチメディアサービス「インフォゲート」「M-stage visual」「M-stage music」「mopera 位置情報サービス」を2002年8月23日をめどに統合すると発表した。

従来、これらのサービスを利用するためには個別に申し込む必要があり、月額利用料金も各サービスごとに必要となっていた。サービス統合以降は、月額利用料100円のインフォゲートへの申し込みだけで、M-stage visualおよびM-stage music、mopera 位置情報サービスも利用できるようになる。

また今回の統合に伴い、上記4つのサービスを申し込む際に必要だった「mopera 情報サービス Hot's」(月額利用料無料)の契約が不要になることから、サービスを終了する。

(7/29)

日立など5社、フラッシュメモリーカード用のモバイルコマースセキュリティ標準規格を策定

日立製作所、Ingentix、松下電器産業、サンディスク、および東芝は、フラッシュメモ

リーカード用のモバイルコマース拡張規格を策定したと発表した。

このモバイルコマース拡張規格は、現在利用可能なフラッシュメモリーカードの記憶媒体としての機能に加えて、新たにセキュリティ機能を実装することができるというもの。

一枚のカードの中に大記録容量と高度なセキュリティ機能を統合することにより、オーディオなどのコンテンツ保護に加え、モバイルコマースの個人認証機能が提供でき、携帯電話、PDA、ノートブックPCなどに利用できる。

さまざまなカード標準化団体やカードベンダーが規定している特定のカードの仕様(カードの寸法、形状、電気仕様など)に依存するものではないため、現在商品化されているCompact Flash、SD Memory Card、MultiMediaCard やその他全てのフラッシュメモリーカードにて採用することができ、また特定のオペレーティングシステムにも依存しない。

フラッシュメモリーカードへのセキュリティ機能を実装するこの規格は、開かれた標準仕様として、ライセンスされる予定で、さまざまなカード標準化団体、カードベンダー、デバイスベンダーが採用することができる。

モバイルコマース拡張規格書、およびライセンス関連のドキュメントは2002年10月に準備、公開する予定としている。

(7/25)

RealNetworks、デジタルメディアプラットフォームにおけるオープンソース戦略を発表

米RealNetworksは、オープンなデジタルメディアプラットフォーム「Helix Platform」とオープンソース開発を担うコミュニティ「Helix Community」からなる戦略「Helix」を発表した。

「Helix」は、エンコーダー、サーバー、クライアントの一部をオープンソースにしてReal以外のフォーマットも一つのプラットフォームでサポートするというもの。

まず、オープンソース開発を担うコミュニ

ティー「Helix Community」に対してRealNetworksは、Helix Platformのソースコードを提供し、コミュニティの参加者がHelixのエンコーダー、サーバー、クライアント製品の開発に関与できるようにする。

Helix Platformのソースコードの中には、これまでRealNetworksが開発してきたクライアント部分(HelixDNA)のソースコードが含まれているほか、オープンなデジタルメディア配信プラットフォームを構築するための1,000以上のAPIを含んでいる。

これにより、オープンソースのもとでストリーミング放送、オンデマンドストリーミング、デジタルメディアのローカルファイルの再生、新しいメディアフォーマットやデータタイプへの対応などが可能なサーバー、エンコーダー、クライアントが開発されることになる。

既に次の29の企業と団体が、Helix Communityへのサポートを表明している。

BSquare、CollabNet、Cisco、Hitachi、HP、Intel、Lindows、nCUBE、NEC、Network Appliance、Nokia、Openwave、Opera、Oracle、PalmSource、Phoenix Technologies、Pinnacle Systems、Red Hat、Sony、Speedera、Sprint PCS、ST Microsystems、Sun Microsystems、Symbian、Tao Group、Texas Instruments、TiVO、Volera、Xiph.org Foundation。

また、Helix Communityでは、二つのライセンス体系「RealNetworks Community Source License (RCSL)」と「RealNetworks Public Source License (RPSL)」が用意されている。

RCSLは、RCSLのもとで構築された全製品がHelixインターフェースとの互換性を確実に維持するように構成され、RPSLは、そのソースコードから構築した製品もまたオープンソースであるという条件付きでデベロッパーに提供するように構成されている。

RealNetworksでは、Helix Communityで利用できる最初のクライアントソースコードとなるHelix DNA Clientを90日以内にリリースする予定。それに引き続き、年末までにサーバーとエンコーダーのソースコードをリリースするとしている。

また、RealNetworks では同時に RealAudio、RealVideo、QuickTime、MPEG-2、MPEG-4、Windows Media など55のメディアフォーマットをサポートするとともに配信性能を飛躍的に向上させ、デジタルメディア配信のコストを大幅に削減できるサーバー製品「Helix Universal Server」を発表している。

(7/23)

Midbar、コピーコントロール技術の新バージョンをリリース

Midbar は、日本で採用されているコピーコントロール技術「Cactus Data Shield (CDS)」の新バージョン「CDS-200.4.0.」を発表した。

CDS-200.4.0.では、新たに Macintosh 環境に対応し、エキストラトラックに収められた圧縮オーディオフィールをMacintosh上でも再生できるようになっている。

これまでに公表されているバージョンはCDS-200.0.4.で、Windows 環境にしか対応できていなかった。

(7/23)

e.Digital、HDD 内蔵オーディオプレーヤーを発表

米 e.Digital は、20GB の HDD を内蔵した携帯型オーディオプレーヤー「Odyssey 1000」を発表した。

Odyssey 1000 は、再生フォーマットとして MP3 と WMA、WAV に対応。著作権管理 (DRM) を施したセキュアな WMA にも対応する。また、表計算や画像などのファイルも保存できる。

大きさは 73mm x 110mm x 22.8mm。インターフェースは USB2.0 を採用し、最大 8MBps での転送が可能となっている。

大きな特徴として音声ナビゲーション機能を搭載しており、e.Digital の「VoiceNav」ユーザー・インターフェースと米 Lucent Technologies の音声認識技術を組み合わせ、音声で音楽ライブラリの中から目的の楽曲を

探し出すことができる。

電源はリチウムポリマー充電電池を採用。4時間の充電時間で連続 13 時間の再生が可能となっている。

Macintosh 環境では iTunes に対応する。FM チューナーも搭載し、リモコンも付属する。

ファームウェアのアップグレードも可能で、多言語もサポートする。発売は今秋を予定している。

(7/23)

I-O DATA、著作権保護機能付きカードアダプターを発表

アイ・オー・データ機器は、SD メモリーカードとマルチメディアカードの2種類の記憶メディアに対応した、PC カード型のメモリーカードアダプタ「PCSDII-ADP」を発表した。

メモリーカードの容量は、SD メモリーカードで最大 512MB、マルチメディアカードで最大 128MB までサポートしている。

SD メモリーカードの著作権保護機能に対応しており、標準添付のソフトウェア「SD-Jukebox Ver2.4」(松下電器製)により、音楽コンテンツの「チェックイン」「チェックアウト」が可能となっている。J-PHONE「J-SH51」にも対応する。

標準価格は 6,800 円、2002 年 7 月下旬発売予定となっている。

(7/22)

オープンソース圧縮規格「Ogg Vorbis 1.0」が正式リリース

Xiph.Org Foundation は、「Ogg Vorbis 1.0」の正式版をリリースした。サイトからは各 Player、Encoder、Source Code が入手可能になっている。

リリースされた Ogg Vorbis は 44.1-48.0kHz のサンプリングレートで、16~128kbps のビットレートでの圧縮が可能になっており、自らを MP3 や AAC、TwinVQ

などと同様の位置付けとしている。

Ogg Vorbis はライセンスフリーの圧縮規格を作ろうという趣旨で 2000 年夏から開発が始まった。その間、支援していたネットラジオ局の事業停止などもあり、2001 年 3 月からは Xiph Foundation という独立系デベロッパーの団体により開発が進められ、2001 年 6 月には 版がリリースされていた。

(7/20)

アップル、iPod 3 モデルを刷新

アップルは、ハードディスクを内蔵した携帯型デジタルオーディオプレーヤー「iPod」の新しいラインアップ 3 モデルを発表した。

5GB モデルは従来と同じスペックで 36,800 円と値下げされた。

10GB モデルは 47,800 円で従来モデルと比べて 10% 薄く 18.4mm となった。

最大容量の 20GB モデルは 59,800 円で、厚さ 21.4mm の重量 204g と多少大型化している。

10GB と 20GB モデルでは、従来のスクロールホイールに替えて業界初のソリッドステート方式タッチホイールを搭載。駆動部分がないため、ほこりや汚れ、砂に強く、耐久性が向上している。

また、新たにアップル製のキャリングケースとワイヤードリモコンも発売。10GB と 20GB モデルでは標準付属する。

さらに、3 モデルとも Mac 版と Windows 版の両方が提供される。

Mac 版の iPod にはアップルのデジタルミュージックソフトウェアの新バージョン、iTunes 3 が付属。ユーザーが設定した一定のルールにしたがってプレイリストを自動的に更新するスマートプレイリスト、曲ごとの音量のちがいを解消して一定音量での再生を可能にするサウンドチェック機能、Audible.com で提供される Audible ファイルのサポートなど数々の新機能が追加されている。

Windows 版の iPod には、MUSICMATCH

Jukebox が付属。PC につなぐだけで自動的に内容がアップデートされるというアップル独自の Auto-sync 機能もサポートしている。

Mac 版 iPod は 2002 年 8 月上旬より、Windows 版 iPod は同 8 月下旬より販売予定。(7/19)

「Yahoo! BB モバイル」、デニーズでも試験サービスを開始

ソフトバンク・グループ 3 社(ビー・ピー・テクノロジー、ヤフー、ソフトバンク・コム)は、デニーズ店舗において、モバイル・ブロードバンドコミュニケーション事業「Yahoo! BB モバイル」の試験サービスを 2002 年 7 月 19 日から開始すると発表した。

「Yahoo! BB モバイル」は、2.4GHz 帯の周波数を活用した無線 LAN 規格 IEEE802.11b に準拠。下り最大 11Mbps の無線による高速インターネット接続を提供する。

導入されるのはデニーズ谷在家店、青戸店、用賀店の 3 店舗。

なお、実験後の展開については、実証実験の結果を十分に検証した上で、改めて告知する予定としている。

(7/19)

NTT-ME など、「ネオモバイル」のモニタ登録受付開始

NTT-ME は、2002 年 7 月 1 日に 18 社共同で発表した無線 LAN インターネットアクセス「ネオモバイル」のトライアルサービスについて、2002 年 7 月 18 日(木)よりモニタ登録の受付を開始すると発表した。

トライアル期間は 2002 年 8 月 1 日(木)から同 10 月末までを予定。アクセスポイントは東武鉄道の駅、相模鉄道の駅、am/pm の店舗など 18 ヶ所程度から開始する。

モニタ募集は Web ページにて受け付け、希望者には、無線 LAN 内蔵 PDA(日立製 PDA NPD-10JWL)が無償貸与される。

なお、トライアル期間中、他の無線 LAN アクセスとのアクセスポイントの連携について積極的に検討するとしており、特に 2002 年 7 月 15 日に設立されたエヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォームの行うトライアル「無線 LAN 倶楽部」については、トライアル期間中、ネオモバイルのユーザーが「無線 LAN 倶楽部」のアクセスポイントを利用できるよう、検討していくとしている。

(7/18)

米バイオニア、Windows Media 9 対応ホームサーバを発表

米バイオニアは、米 Microsoft と共同で発売予定の Digital Network Entertainment 製品に発表されたばかりの Microsoft Windows Media 9 をサポートすると発表した。

Digital Network Entertainment の最初の製品として 2002 年後半に発売を予定しているホームサーバ「Digit Library」は、Microsoft Windows Media Video をサポートする最初のホームシアター製品となる。

Digit Library は、インターネットに接続してストリーミングやダウンロードすることで動画・音声を再生できるほか、ユーザーがパソコンで編集したコンテンツを無線 LAN などのホーム・ネットワークで取り込み大画面のテレビ受像機で再生するといった用途を想定している。

Windows Media digital rights management にも対応しており、セキュアなオーディオ、ビデオの再生も可能となっている。

プロセッサには National Semiconductor の「Geode」を採用している。

(7/17)

東京電力グループ、ホットスポットの実験実施

スピードネットは、東京電力、東京通信ネットワークと共に、2.4GHz 帯を利用した公衆無線 LAN(ホットスポット)の実験を行うと発表した。2002 年 9 月から「TEPCO de am/pm」渋谷店ならびに同中山店より開始し、

順次拡大していく予定。

本実験は、エーエム・ビーエム・ジャパン、パワードコム及びサイバーコネクション・ジャパンの協力のもとで実施される。

無線方式は当面の間「IEEE802.11b(2.4GHz 帯)」とし、公衆無線 LAN の利用希望者様に対しては、事前の加入登録等なしでも、クレジットカードなどを利用して手軽にご利用いただけるものを目指す。

なお、この実験ではスピードネット以外の ISP 契約者に対しても利用可能とする予定で、将来的な幅広いローミングサービスの提供についても検討していく。

また、スピードネットでは 2002 年 7 月 3 日、5.0GHz 帯の実験局免許を申請しており、本実験においても屋外向けサービス提供を視野に入れた「IEEE802.11a(5.2GHz 帯・5.0GHz 帯(5.03~5.091Hz 帯))」方式での実施について検討していくとしている。

(7/17)

サン電子、国内初のブロードバンドラジオを発表

サン電子は、急速に普及拡大しているブロードバンドマーケットに向け、国内初となるブロードバンドラジオ「BiBio(ビビオ)」を発売すると発表した。発売は 2002 年 9 月中旬。価格はオープン。

ブロードバンドラジオはストリーミング機能の技術を利用し、インターネット経由で配信されているニュースや音楽等のインターネットラジオ放送を聞くことのできるラジオ。

パソコン不要で、ブロードバンド回線に直接接続し、インターネットラジオ放送局にアクセスすることで、有線放送のように好きなジャンルを選択し、24 時間音楽を楽しむことができる。

5 つのプリセットキーを搭載しており、ラジオを聴いている途中で気に入った放送局が見つければ、最大 5 局まで登録させることができる。

さらに、メモリスティックスロットを搭載していますので、メモリスティックに記録された音楽ファイル(MP3 および Windows Media Audio フォーマット)を再生することもできる。

なお、インターネットラジオ放送を楽しむ以外にも、BiBio(ビビオ)独自の個別認証の機能を生かして、BiBio(ビビオ)だけの有料コンテンツ配信のビジネスモデルを構築する可能性もあるとしている。

当社は大手インターネットサービスプロバイダ経由での販売からスタートし、順次全国の家電量販店を通しての販売も計画していく予定。

(7/16)

米 Microsoft、Windows Media の新バージョンの名称を発表

米 Microsoft は、Windows Media「コロナ」の開発コード名を持つ次世代デジタルメディアプラットフォームの正式名称を「Windows Media 9 Series」とすることを発表した。

Windows Media 9 Series の全プラットフォームの版(英語版)は、2002年9月4日に発表される予定。

Windows Media 9 Series では、音声と動画の圧縮規格 Windows Media Audio と Windows Media Video も改善された。音声規格では Windows Media Audio Professional が新たに開発され、5.1ch サラウンドや、サンプリング周波数 24bit/96kHz をサポートした。

(7/16)

NTT 東日本、無線 LAN サービスに関する新会社を設立

NTT 東日本は、無線 LAN システム等を利用した高速 IP 通信アクセスの提供を目的とした「エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社」(以下、NTT-BP)を設立したと発表した。

NTT-BP は、NTT 東日本が 100% 出資の完

全子会社。資本金は 10 億円。

具体的な事業展開としては、駅を中心とした無線スポットアクセストライアル「無線 LAN 倶楽部」を 2002 年 8 月 1 日より PDA 向けにデジタル化されたコンテンツをダウンロード配信するコンテンツシンクロ配信技術や駅構内等での高速 IP ネットワーク通信環境構築技術の実現性・信頼性の検証を行う。

また、外出先でより便利により楽しく利用するためのコンテンツ・アプリケーションなどのサービスの受容性の検証および鉄道会社やコンテンツプロバイダ等のアライアンス先企業とのビジネスモデルの実現性の検証も行う。

それらを踏まえ、今秋を目処として、「無線 LAN 倶楽部」の本格サービスを開始し、逐次提供エリアの拡大を図っていくとしている。

無線スポットアクセストライアル「無線 LAN 倶楽部」は、京王電鉄、京浜急行電鉄と協力、線の主要な駅や周辺のホテル、レストラン等を中心に展開していく。

スケジュールとしては、2002 年 8 月 1 日より、品川駅、上大岡駅、ホテルバシフィック東京(品川) レストランローズテリア 2(横須賀リサーチパーク)よりスタート。8 月 10 日からは新宿駅、府中駅、聖蹟桜ヶ丘駅、京王プラザホテル(新宿)が追加となる。

トライアル期間は 2002 年 10 月 31 日まで。

無線 LAN 技術としては、PDA 向けに IEEE802.11b、PC 向けに HiSWANa を採用、それぞれ最大 11Mbps、36Mbps の通信環境を提供する。

(7/15)

MO フォーラムと NTT コム、「メディア ID」機能対応コンテンツ配信サービスを推進

MO フォーラム(幹事会社:オリンパス光学工業)と NTT コミュニケーションズは共同で、著作権保護機能を備えた 3.5 型 MO の「メディア ID」に対応したブロードバンドコンテンツ配信サービスを推進していくと発表した。

2002 年 9 月より小学館の digi-KISHIN、ポニーキャニオンの RaceQueenVision において、「メディア ID」機能に対応したコンテンツ配信プラットフォームを新たに提供する。

MO フォーラムは、3.5 インチ MO を中心とした MO ファミリー - のドライブ、ディスクの普及とユーザーの啓蒙を目的に、メーカー 8 社で構成されている団体。(オリンパス光学工業、コニカ、ソニー、帝人、日立マクセル、富士通、三菱化学メディア、RITEK CORPORATION)

メディア ID 対応の MO ドライブは、2002 年 6 月現在、すでに 100 万台以上が市場に提供されており、2002 年末には 200 万台以上の対応ドライブが市場に提供されると推定している。

(7/15)

ソニー、メモリスティックデュオを発表

ソニーは、小型機器向けに開発した IC 記録メディア「メモリスティックデュオ」『MSA-M16A』を発表すると発表した。発売は 2002 年 7 月 20 日。価格はオープン。

「メモリスティックデュオ」は、電気部品と外筐部品の小型化・薄型化により標準サイズの「メモリスティック」に対して、約 1/3 の大きさを実現した IC 記録メディア。

同梱のアダプターを用いることで、標準サイズの「メモリスティック」と全く同等に扱うことが可能となり、世界中に普及している様々な「メモリスティック」対応機器で利用することができる。

ソニーでは、16MB 製品より発売を開始し、順次ラインナップの拡張を図っていくとしている。

(7/12)

松下電工、薄型 SD カードソケットを発表

松下電工は、標準タイプで厚さ 2.70mm を実現した、「SD メモリーカード用ソケット

標準タイプ(外側端子)の発売を開始したと発表した。

幅: 28.8mm x 長さ: 28.4mm (端子含まず) x 厚さ: 2.70mm の超薄型 & 省スペースの商品を「標準タイプの外側端子」で実現。同じ標準タイプの内側端子商品と比べて体積比で約 20%減少している。

カードの不用意な抜けを防止し、機器の信頼性が高まるカード簡易ロックを採用。従来のメモリーカードにカメラや Bluetooth などのインターフェース機能を持たせた、SDIO と呼ばれるカードにも対応している。単価は 305 円。

(7/12)

マイクロソフト、FOMA 端末に WMA 搭載と発表

マイクロソフトは、NTT ドコモの第 3 世代移動通信サービス「FOMA SH2101V」において、Microsoft Windows Media Technologies に含まれる音声や音楽の圧縮テクノロジー「Windows Media Audio」が搭載されると発表した。

SH2101V は、2002 年 7 月 9 日(火)に発表されたテレビ電話も可能な PDA 型のシャープ製 FOMA 端末。1 秒間最大 15 フレームのスムーズな画像のテレビ機能、および総画素数 35 万画素のカメラやスケジューラや住所など個人情報管理を行う PIM 機能などを搭載している。

また、WMA 搭載により、ユーザーは NTT ドコモが提供する映像配信サービス「M-stage visual」から配信される映画の予告編やミュージッククリップなどの映像コンテンツを WMA 形式で楽しむことができるようになる。

「M-stage visual」は、NTT ドコモの映像配信サービス。ユーザーは、「FOMA」から、ニュース、エンターテインメント、映画や音楽、スポーツなどの各種コンテンツを、11 ジャンル、79 チャンネルで約 300 種類の番組(2002 年 6 月現在)を映像ストリーミングで楽しむことができる。

(7/11)

有線ブロード、6 月末時点の進捗を発表

有線ブロードネットワークスは、ブロードバンド事業 (FTTH ブロードバンドインターネットサービス) について、2002 年 6 月末時点の進捗状況を発表した。

これによると、Web でサービスの申込みを行なった登録数が 80,367 件、工事日が確定している契約者数が 21,650 件、回線が開通している取り付け数が 11,532 件となり、取り付け数がひと月で 1,500 件弱の伸びを見せた。

そのほかの数字を 5 月末時点のもの比べると、登録数で約 3,500 件、契約者数で約 2,600 件の増加となっており、いずれも伸びが大きくなっている。

なお、6 月には展開エリアが 74 から 82 に増えている。

(7/11)

日立、10bit 多値フラッシュメモリを製品化

日立製作所 半導体グループは、動画など大容量データの高速記録用に、業界で初めて 10MB/秒の高速書込みを実現した 1G (ギガ) ビットの多値フラッシュメモリ「HN29V1G91」を製品化し、2002 年 10 月からサンプル出荷を開始すると発表した。

「HN29V1G91」は、0.13μm プロセスの採用と、多値による小チップサイズかつ高速書込みを実現する当社の次世代 AND 型フラッシュメモリセル「AG-AND(Assist Gate-AND)」を採用。従来の多値フラッシュメモリに対し 5 倍に高速化した 10M バイト/秒の書込みを実現している。

1 チップで 128MB のデータを 13 秒程度で記録できるため、高画質のデジタルスチルカメラやシリコンムービーなど、動画を含む大容量コンテンツを高速に受信する際の記録メディアとして最適となっている。

パッケージは、512Mbit AND 型フラッシュメモリと同サイズの 48 ピン TSOP タイプ I を採用。サンプル価格は 8,000 円となっている。

日立では、本製品を搭載した小型カードとして、1GB のコンパクトフラッシュおよび 256MB のマルチメディアカードの開発を計画しており、高速書込みによりブロードバンドや無線 LAN などの高速通信インフラを快適に活用可能なストレージソリューションを提供していくとしている。

(7/10)

6 月末の DSL 加入者数は 330 万超

総務省から 2002 年 6 月末時点の DSL 加入者数の速報が発表された。それによると加入者数は 3,300,926 でこれは前月末の 9.0% 増。増加率は前月から 3.2% 減。

内訳を見ると NTT 東西のフレッツ ADSL での加入者が 1,387,409、他事業者経由の DSL 加入者が残りの 1,913,517 で、NTT 東西のフレッツ ADSL のシェアは 42.0% と前月比 0.1% のマイナス。

(7/9)

米 Songpro、Rioport と提携し、ゲームボーイ向け音楽配信サービスを提供

米 Songpro は、Rioport と戦略的提携をし、任天堂のゲームボーイカラーおよびゲームボーイアドバンス用プラグインモジュールに対する音楽配信サービスを行うと発表した。

Songpro は任天堂のゲームボーイカラーおよびゲームボーイアドバンス向けに MP3 と WMA を再生できるプラグインモジュールを発売予定。これに、Rioport の音楽配信サービス PulseOne Media Service の一機能である Direct-to-Device (d2d) 技術を統合し、ユーザーが Songpro Player で Rioport が提供する多くのアーティストの楽曲をダウンロードできるようにする。

また、両社はセキュア WMA ファイルと画像およびテキスト情報を統合する技術を開発。secure Songpro Audio (SPA) 形式と呼ばれるファイルにより、ゲームボーイカラーやゲームボーイアドバンスの液晶画面に音楽に合わせてジャケット写真や歌詞を表示することができる。

このファイル形式を利用することにより、画面に広告を表示することも可能で、企業のプロモーション活動による無料の楽曲が提供される可能性があるとしている。

Songpro では、この SPA 形式を各配信サイトに大してライセンス提供する用意があり、2002 年秋からは実際に SPA 形式での楽曲提供が始まる見込みであるとしている。

(7/3)

総務省、5 月末のインターネット利用者数を発表

総務省は、2002 年 5 月末の時点でのインターネット接続サービスの利用者数速報を発表した。

いわゆるブロードバンドの利用者数としては、CATV インターネットが 156.7 万人、DSL が 3,028,556 人、FTTH が 50,930 人となっている。

DSL の加入者が前月から 32 万弱増やし相変わらずブロードバンドの牽引役になっている。一方、CATV インターネットは 3.4 万の増加となり増加数に落ち込みが見られる。逆に FTTH は数字は少ないものの前月から 16,000 増え、増加率は高い。

(7/2)

メルコ、無料ホットスポットソリューションを発表

メルコは、無線 LAN のアクセス拠点と活用範囲の拡大に向け、インターネット無線スポットサービス「FREE SPOT」を展開すると発表した。

具体的には、基地局となる無線機器には「インターネット無線スポット」向け専用モデルを用意、利用者様のセキュリティを確保する機能や設置導入者様向け広告機能等、サービスを提供するうえで必要な機能を搭載している。

また、機器の設置設定を行う「訪問設定サービス」も含まれており、導入業者様の負担を極力少なくしているほか、店舗内で利用できる案内ツールも同梱している。

さらに、インターネットおよびパソコンの活用範囲拡大を目的に、協賛各社とともに FREE SPOT 協議会を発足する。協同 PR や専用サイト (freespot.net) でのマップ (利用可能場所紹介) 等の情報発信を通して「インターネット無線スポット」サービス利用者や提供者の裾野を広げていくとしている。

(7/2)

各めたりっく通信サービス、Yahoo!BB サービスへ統合

ビー・ビー・テクノロジー、東京めたりっく通信、名古屋めたりっく通信、大阪めたりっく通信の 4 社は、2002 年 6 月末日にめたりっく通信グループ 3 社が提供中の DSL サービスを、Yahoo! BB サービスへ統合することを決定したと発表した。

今回の統合より、現行のめたりっく通信グループが提供している DSL サービスは、Yahoo! BB サービスと業務を統合し、サービス名称を『Yahoo! BB めたりっくサービス』と変更される。

各めたりっく通信が提供する個人向け ADSL サービス【Family (東京)、Single (東京)、Home (名古屋・大阪)】は、『Yahoo! BB めたりっく 1.5M』とサービス名称を統一、7 月 1 日利用分より現行の月額料金 2,980 ~ 4,980 円を 2,080 円と改定する。

また、法人向け ADSL サービス【G One、SOHO】、SDSL サービス【Biz、Expert】についても『Yahoo! BB めたりっくサービス』として従来通り継続して提供される。

さらに、下り最大 8Mbps の ADSL 接続サービス『Yahoo! BB めたりっく 8M』、下り最大 12Mbps の ADSL 接続サービス『Yahoo! BB めたりっく 12M』も準備が出来次第、順次案内、提供される予定。

(7/1)

NTT-ME など、国際ローミングによる ISP フリーのホットスポットサービス発表

NTT-ME など 18 社は、共同で、利用 ISP を限定しない無線 LAN インターネットアク

セスサービス「ネオモバイルサービス」の提供を開始すると発表した。

「ネオモバイルサービス」は、Wi-Fi Alliance (旧 WECA) の WISPr のガイドラインに準拠した国際標準ローミングにより、利用可能な ISP を限定せず国内外の ISP ユーザーに対してサービスの提供が可能となっている。

また、無線アクセスポイント設備を拠点オーナーが保有し、サービス料金の一部をオーナーへバックするという新しいビジネスモデルを提案している。

コンテンツに関しては、ネオモバイルサービスのトピックとして、駅やコンビニエンスストア毎に、地図、時刻表、周辺の店舗情報、クーポンなど、求められる地域情報を的確に表示できる駅・店舗ポータルサイトと、新聞・雑誌などのキオスク型コンテンツを提供する。

そのために、ノート PC による無線 LAN アクセスに加え、端末として駅やコンビニエンスストアなどの滞留時間の短い利用エリアには「PDA 端末」にフォーカスし、より身近で便利なポータル・コンテンツサービスを目指すとしている。

スケジュールとしては、2002 年 7 月初旬より、首都圏の駅やコンビニエンスストアにおいて、同サービスの技術検証を行い、同年 8 月 ~ 10 月の間、モニタを募集して駅・店舗ポータルサービスやキオスクコンテンツの配信、VoIP 等を含む「ネオモバイルサービス」を試験的に提供するトライアルサービスを行い、利用実態を調査する。

トライアルサービスの分析評価を経て、2002 年 11 月を目途に本格商用サービスに移行する計画。商用サービスでは基本料金として月額 1500 円程度、有料版書籍型ダウンロードコンテンツ配信サービス、定額 1000 円 (程度を予定) の無線 VoIP サービスなどを予定している。

なお、18 社の顔ぶれと役割は以下の通り。

・NTT-ME : ネットワークの提供のほか、ISP 間ローミング、「ネオモバイルサービス」等各種ネットワークサービスを提供

・NTT-X: 無線 LAN インターネットアクセスサービスのポータルサイトを提供

・富士ゼロックス: オフィスを中心に無線 LAN 化や、VoIP 化を提案

・am/pm ジャパン: 無線 LAN による地域情報発信拠点を提供

・iPass: スマートクライアントを使用したセキュアな国際ローミングサービスを提供

・東武鉄道: トライアルサービス期間中、東武伊勢崎線 浅草・新越谷、東武東上線 池袋の各駅でアクセスポイントを提供

・相模鉄道: トライアルサービス期間中、横浜、湘南台駅など相模鉄道本線、いずみ野線の駅でアクセスポイントを提供

・凸版印刷: PDA 向けのダウンロードコンテンツを販売する総合サイト「@irBitway (エアビットウェイ)」を、駅やコンビニエンスストアのポータルサイトへ提供

・イリンクス: 「キオスクコンテンツ」の中心となる PDA 向けダウンロード型コンテンツのビューソフトおよびコンテンツのパッケージ化技術(チャンネル技術)を提供

・日立製作所: 無線 LAN 機能内蔵の携帯情報通信端末「NPD-10JWL」や VoIP を実現するためのネットワークインフラに適したネットワーク機器などを提供

・NEC カスタマックス: 無線 LAN インターネットサービス、無線 VoIP サービスに適したモバイルノートパソコンを提供

・沖電気: VoIP サービスを提供するネットワークシステム、また、ビジネスユーザ向けにオフィスの無線 LAN 化、VoIP 化を実現する無線機能搭載ビジネスホン装置を提供

・コンパック: 携帯情報端末「Compaq iPAQ Pocket PC」, 無線 LAN ファミリ「Compaq WL シリーズ」などモバイルコミュニケー

ションを提供

・日本ベリサイン: 国際標準ローミングで必要となるサーバー証明書、ユーザー証明書の発行システムを提供

・Commil: Bluetooth 無線アクセスポイントに加え、アクセスポイント間相互の端末移動に対応した機能(ハンドオーバー機能)を持つネットワークシステムを提供

・タカラ: 子供および女性を主なターゲットとした無線 LAN インターネットアクセス環境に適した情報玩具を提供、「リカちゃん」に代表される豊富なコンテンツ資産を活用したエンターテインメントサービスを提供

・神鋼商事: PDA に搭載可能なインターネット電話ソフトウェア「NetiphonePDA」を提供

・Microtune: Bluetooth 音声通信技術による IP 電話端末などをはじめとする、ワイヤレス・インターネットアクセス環境に適したソリューションを提供。

(7/1)

EMD Magazine 第 23 号

発行 2002 年 8 月 5 日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダース